

飯伊地区 産業経済動向

No.541 2024/4
(6.5.25 発行)



IIDA SHINKIN BANK
飯田信用金庫
しんきん南信州地域研究所

<https://www.iidashinkin.co.jp/>
〒395-0044 飯田市本町1-2
TEL 0265-53-5811 FAX 0265-53-1132



Contents

表紙 写真：綿半信州飯田ツアー・オブ・ジャパン2024（下久堅知久平）～園児が応援～	P 1
製造業 景況DIは前月からやや悪化。先行きは横ばいを見込む声が多い	P 2
建設業 4月の公共工事は前年比増加。3月の住宅着工は前年比113%増加	P 4
商業・サービス業 景況DIは前月からやや改善。卸売業、飲食業で景況感好転との声が多い	P 5
環境特集 地域企業の挑戦 南信州菓子工房株式会社 「もったいない！」から始まった、「買い手よし」「地域よし」「環境よし」	P 6
飯伊地区全産業景況DIの推移・主要経済指標	P 9
SDGs サポートサービスのご案内	P 10

◆ 本誌内容は飯田信用金庫ホームページ（<https://www.iidashinkin.co.jp/>）に全文掲載しています ◆

本誌は、当金庫が信頼できると考えるデータに基づき作成されておりますが、データ、記述の正確性、完全性を保証するものではありません。御利用に当たってはご自身の判断によってください。

しんきんは環境にやさしい取り組みを地元のみなさまとともに行っています。



再生紙を
使用しています

地区内製造業の景況判断指数

概況 景況DIは前月からやや悪化。先行きは横ばいを見込む声が多い

当月の製造業の業況判断指数（DI）は0.0で、前月から7.5ポイント低下。翌月予測はマイナス2.6で、前月から5.1ポイント低下。機械製造では当月景況感が悪化～やや悪化したとの声が多い一方、食品製造では好転との声が多く、全体ではプラスマイナスゼロとなった。先行きの景況感については、機械製造のうち電気・精密・光学分野で悪化を見込む声はやや多い。それ以外では横ばいとの声が多く、全体では若干のマイナスとなった。半導体向け分野は景況感横ばいとの声が多く、回復時期は不透明との声が複数聞かれた。

主な業種の動き

●電気・精密・光学

- ☑受注、販売… 販売、受注ともに前月比は業者により増減分かれるが、販売は減少との声が多い。先行きについては、販売、受注ともに減少を見込むとの声が多い。
- ☑景況感…… 当月の景況感は悪化～横ばい。横ばいとの声が多いが、好転との声はなかった。先行きも同様。

[企業からのコメント]

- ・「低迷していたFA事業の受注に少しずつ動きが見られるようになってきた。車載事業はEVの失速や自動車の品質問題の影響を受け、売上が伸びない状況」「市場動向に大きな変動は見られない。補助金に後押しされ、中小企業を含む省力化投資は堅調な水準」「半導体需要が減っている。まだ底をついた感じではなく、上向きに転じるタイミングが見定められない」「海外の動きが悪く上昇のきっかけがない」「例年は3月に駆け込み需要があるが今年は一切なく、4月以降も伸び悩んでいる」
- ・円安のため、輸入商品が価格アップ。客先には値上げできず、苦しい状況。

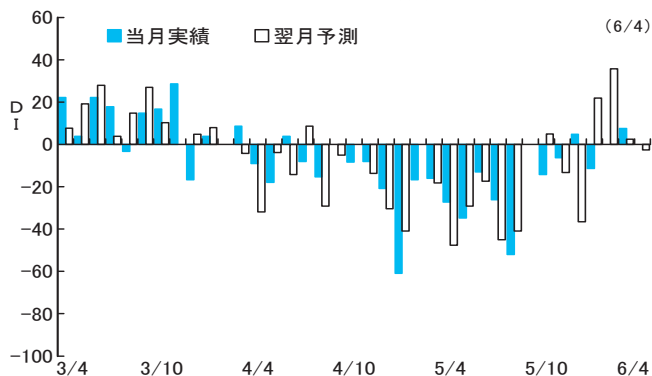
●半導体、液晶製造装置向け機械部品

- ☑受注、販売… 販売は前月比で横ばい～増加。受注は前月比は業者により増減分かれる。
- ☑景況感…… 当月の景況感は概ね横ばい。先行き是一部に好転見込みとの声があるが、横ばいとの声が多い。

[企業からのコメント]

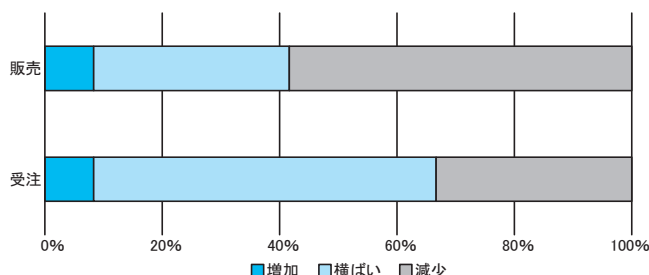
- ・「目先は中国向けが牽引している。メモリ系大手の投資が一部復活してきており、明るい材料が増えつつある。2024年度後半は依然として不透明だが、各装置メーカーとも年明けから動きが活発となる予測となっている」「4月の売上は回復したが、取引先の期末での受注を絞った反動と、ゴールデンウィークの前倒し分が重なった影響があり、前期と比べると芳しくない状況」「半導体においては、4月以降受注が横ばいから減少傾向。ただし夏以降、具体的な増産の情報が入り始めている」
- ・「半導体業界については、未だに明るい話題はない。2023年の状態を維持するという情報もあれば、2024年中に回復するとの情報が錯綜中で、取引先の中でも認識が分かれる。中国経済の回復、新興国のスマホ市場が上向けば回復が早まるのでは、という声も聞こえる」
- ・「全ての経費が高騰傾向のため、製品単価に徐々に反映させている。古くからの製品は図面変更のタイミングで価格交渉するように努めている」「材料費分を値上げした。人件費までは含んでいないが、利益率の改善が見込める」

飯伊地区景況DI（製造業）

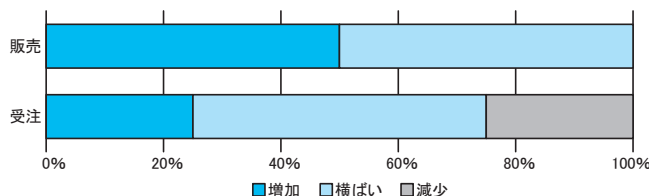


【DI（ディフュージョン・インデックス）】とは…景気に関する投票を指数化したもので、全体の回答数を分母、良い、やや良いとの回答数を分子にした割合から、全体の回答数を分母、悪い、やや悪いとした回答数を分子にした割合を引いた数値。「先月と比べて景気が良い」との回答が多ければプラス、「先月と比べて景気が悪い」との回答が多ければマイナスとなる。

電気・精密・光学向け部品前月比回答割合



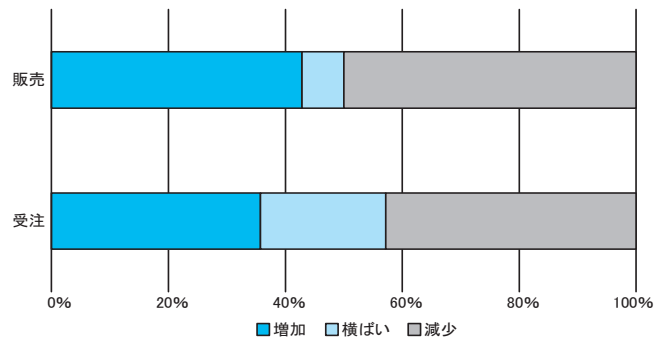
半導体、液晶製造装置向け部品前月比回答割合



●産業機器、医療機器向け等機械部品

- ☑受注、販売… 販売、受注ともに、業者により増減分かれるが、減少との声がやや多い。先行きについても、販売、受注ともに業者により増減分かれており、横ばいを見込むとの声は少ない。
- ☑景況感…… 当月は悪化との声がやや多い。一方、次月以降は好転見込みと悪化見込みの声拮抗。

産業機器、医療機器向け部品前月比回答割合



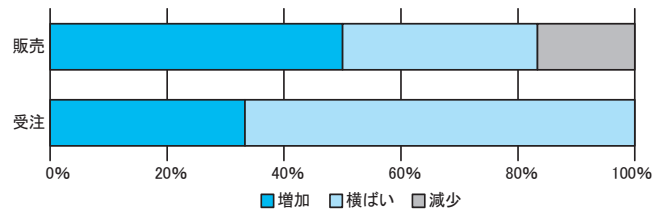
[企業からのコメント]

- ・「産業機器部品が戻りつつある。車両関係部品は半導体不足が解消し、増加してきた。エンジンの過給機部品は、EV車両に変わることにより減少が予測される」「自動車開発案件の動きが少ない。年度初めなので例年同様ではあるが、例年よりも悪い」「航空関連、防衛関連の受注は伸びてきている。車、半導体関連はまだ低調な状況である」「量産品が減少。景気に明るさが全く見えない」「製造業全般的に厳しい状況だが、扱っているものによっては忙しいところもあるようだ」「各会社の取引業界によって、仕事量にかなり差が出てきていると思う」
- ・人員は受注が増加して適正になって来ている。更なる受注量の増加に対して、検査の無人化・省人化を進めていく。

●食品製造（漬物、半生菓子、菓子原料、その他食品）

- ☑売上… 漬物は、前月比はやや増加～増加。菓子は前月比は業者により増減分かれる。先行きについては、横ばいを見込むとの声が多い。
- ☑景況感… 当月は横ばい～やや好転の声が多い。次月以降は横ばいを見込むとの声が多い。

食品製造 前月比回答割合



[企業からのコメント]

- ・「半生菓子業界は全体的に売り上げ好調」「前年の卵不足もあり、今年は非常に忙しかった。ただ、他社はそうでもないところもあると聞く」「現状はあまり良くない」「物価高で、消費が落ちている」「高級志向の店舗での売上は値上げに関係なく今年も売れているが、値段重視のスーパー等は去年に比べ明らかに大口特売が減ってしまった」
- ・「連休の需要増に原料野菜が追いつかない。大幅なチャンスロスが発生している。原料野菜の不安定が長期化しており、今後も当面続く見通し」「原料確保が非常に難しい時代となってきた。数量が揃わない、揃っても価格が高いなど、野菜加工業にとっては看過できない問題となってきた」
- ・主要原料や包材の仕入れ値上げがあるが、取引先への値上げ転嫁ができるかが不透明。

●水引製品、冠婚葬祭・祝儀用品、正月・盆用品

- ☑売上… 前月比では増加、次月以降はやや増加。

[企業からのコメント]

- ・授与品メインの縁起物業界では、神社・仏閣等、催事等に積極的取り組む姿勢が感じられる。特に海外からの旅行者・国内旅行者で参拝客数の増員が見られる。
- ・生産力を拡大する方向性で取り組みを進めている。現状での人員数は不足と捉えており、現在募集要項の見直し（初任給大幅アップ）を図りながらも、苦戦を強いられている。

●上記以外の製造業

- ☑建築用金属製品 … 販売は前月比、前年比とも増加。景況感は横ばいという。
- ☑自動車向け部品 … 販売は前月比では横ばい。景況感は横ばいだが、先行きはやや好転を見込みという。
- ☑印刷 … 販売は前月比ではやや増加、前年比ではやや減少。景況感の一部に好転との声も。

[企業からのコメント]

- ・ゼネコンの現場の遅れもあって、予定よりも仕事量が増えてこない。今後、2024年問題により更なる工程の遅れ、運送の問題が発生してくると思われる。
- ・「対前年比ではマイナスとなったが、去年の統一地方選挙関係の仕事が減った分を考えれば健闘した月だった」「少しずつ受注数が回復しつつある。インバウンドの影響は思っているほどない」「一般商業、チラシ等の量がまた減っている。ネット印刷への流れがますます強くなる傾向」「同業からも、景気の良い話は聞かえてこない。デジタル化が進む中、仕事が少なる傾向が続くが、何とか踏ん張っていきたい」
- ・「円安が社会全体に影響を及ぼしている。適正な為替水準にすべき」「この円安状況がどう変化するのか、不安がある」

建設業

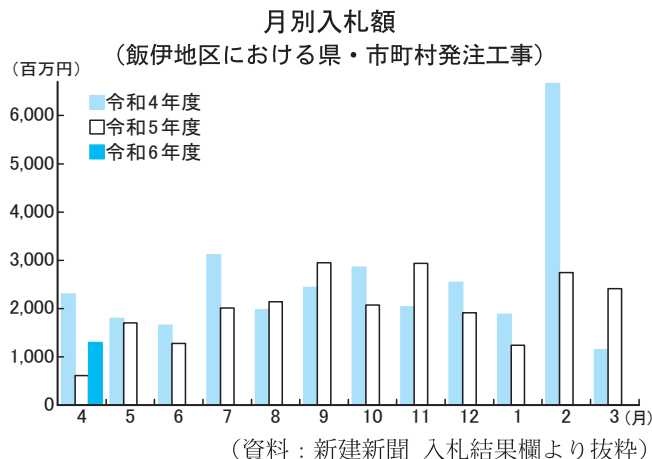
官公需

概況 4月の公共工事入札金額は前年比で111.7%増加、一昨年比では43.8%の減少

☑公共工事入札額… 当地区における当月の県、市町村発注工事の入札額合計は、約12.9億円（5月15日調査時点）。前年に比べ111.7%増加、2年前との比較では43.8%減少。

☑受注残高…………… 当月、先行きともに業者により増減分かれるが、先行きは増加を見込むとの声やや多い。景況感は、当月、先行きともに大きな変化はないとの声が多い。

☑原材料価格…………… 当月、先行きともに上昇を見込むとの声が多く、下降との声はなかった。



[企業からのコメント]

- ・「土木工事は年度切替によって一段落して、いつもの年より忙しくないで民間の細かい工事を行っている業者が多い。公共工事は、橋梁補修の特殊な工事が多く、一般土木の工事が少ない。全体的には、新年度の工事発注待ち」「昨年度の災害工事など、残工事の対処を進めた」
- ・「資材や労務単価の上昇に対して、設計側（発注者）の設定単価が追いつかず、それでも地元の工事は受注しなければならないため、元請けであっても利益が出ない」「骨材は今後さらに値上げの方向」
- ・リニア関連工事があるためか、クレーンやガードマンが不足している。

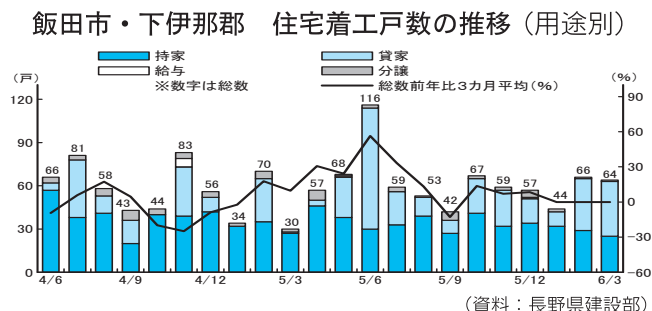
民需

概況 令和6年3月の住宅着工戸数は64戸で前年比113%増加。

持家・分譲は減少も、貸家が大幅に増加し、2か月ぶりに前年比プラス

☑住宅着工戸数… 当地区の3月の住宅着工戸数は64戸。前月比3%減、前年比では113%増。持家の戸数は25件で前年（27件）から減少。貸家が38件で前年（1件）から大きく増加。分譲は1件で、前年（2件）から減少。

☑原材料価格…………… 前月比、先行きとも、横ばいとの声と、上昇との声に分かれる。



[企業からのコメント]

- ・「建築工事は大きな箱物工事がなく、改修工事や民間のリフォーム等を行っている業者が多い」「住宅関係はなんとか採算ベースになっていると思うが、一般・公共工事は少ない」「暖かくなり、リフォーム工事が増えている」
- ・「一部のゼネコンは忙しそうだが、小さい業者は仕事が少ないのではないかと思う」「県内は半導体関連の設備投資計画が一旦の落ち着きを見せている為、秋口までは工事は少ないとみられる」
- ・業界は人員、人材不足という話題が多い。仕事はあるが人員が不足しているため受注できないという声が多数。
- ・製造業も上向いてきたとの声も聞くが、工場建設の話は少ない。

建設資材等

概況 4月の生コンの売上は前月比では業者により増減分かれ、前年比はやや増加～増加。骨材は前月比は減少～やや減少、前年比では増加

☑生コン … 売上は前月比は業者により増減分かれる。前年比ではやや増加～増加。

☑骨 材 … 売上は前月比は減少～やや減少、前年比では増加。

[企業からのコメント]

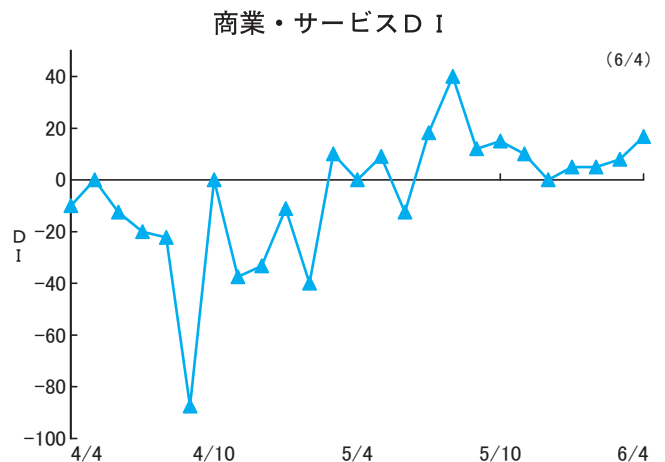
- ・当月の生コンの主な出荷は、リニア関連工事、三遠南信工事、病院・事務所建設等に関わるものだった。リニア関連工事の出荷量は、当月出荷量全体の5割弱。
- ・「一般建設工事が少なくなっていることを感じた月だった。リニア需要があったため、そこそこの売上は確保できた」「出荷量は先月より上がったが、決して多いわけではない。大きな生コンの仕事がない。年度初めのため、これからの発注に期待」
- ・令和6年4月より、販売価格の改定により値上げを実施した。
- ・地元業界は若い人がおらず、高齢化が加速している。土木業界では若い人は入ってこないとの声を聞く。

概況 景況DIは前月からやや改善。卸売業、飲食業で景況感好転との声が多い

当月の商業・サービス業の業況判断指数（DI）はプラス16.7で、前月から8.7ポイント上昇。

卸売業や飲食業では、売上増加に伴い、景況感が好転したとの声が多く聞かれた。小売業や宿泊業では業者により景況感の見方が分かれ、好転したとの声と悪化したとの声が拮抗していた。全体では、景況感はやや改善したが、中でも物価高、原材料高による悪影響を指摘する声は依然として多い。

昼神温泉エリアにおける県道の通行規制、スキー場のゴンドラ故障による客足の減少を指摘する声は、宿泊業を中心に多く聞かれた。



主な業種の動き

●小売業 概況 売上は前月比は横ばい～やや増加。景況感業者により見方が分かれる

☑売上… 前月比は横ばい～やや増加。前年比では減少との声が多い。景況感業者により見方が分かれる。先行きは横ばいとの声が多い。

[企業からのコメント]

- ・仕入価格や生活必需品の値上げが相次ぐも、値上げ慣れもあるのか予想ほど売上は落ち込まず。
- ・経費は上がる一方で、客足は鈍くなっている。キャッシュレスと現金売上が半々で、今後も両替は必要と感じる。
- ・値上げやインボイス導入の影響もあるのか、地元小売店や理容業など、高齢化による廃業が目立つ。

●卸売業 概況 売上は前月比は業者により増減分かれる。景況感はやや好転との声が多い

☑売上… 食肉、菓子の売上は前月比やや減少。青果は前月比増加。電設資材は前月比横ばい。

[企業からのコメント]

- ・野菜は、先月に続き、品種によって品薄による価格高があり、特に白菜が高く、大根、ニラ、レタス、玉ねぎも高かった。野菜全体では入荷量増、価格も高かった。陽気が進んだことで、山菜類は大幅な前進出荷となった。果実は、終盤を迎えた苺は日照不足もあり入荷やや減、価格高。旬を迎える輸入果実も円安の影響で仕入価格が高く、果実全体では入荷量やや減、価格高となった。価格高は今後も続く見込まれる。
- ・売上面では、省エネ等の補助金効果によって設備更新に係る投資が増え、売上増の要因となっている。ただ、仕入単価も上がっており、利益増加しているとは言えない。仕入面では経費増が目立つが、運賃・加工代・保管料・手配量等、今までサービスとして提供していたものを、全て売先に価格転嫁することは現状は難しい。競合他社の動向を見ながら、探り探りの状況。
- ・円安により輸入品価格が上昇しており、今後もさらに上昇すると予想している。

●飲食・宿泊・運輸業 概況 飲食業、宿泊業ともに、売上の前月比は業者により増減分かれる。景況感についても、飲食業、宿泊業ともに業者により見方が分かれる

☑売上… 飲食業は前月比では業者により増減分かれるが、増加の声がやや多い。宿泊業でも前月比は業者により増減分かれる。昼神温泉では、花桃祭りの中止、スキー場のゴンドラ故障の影響を指摘する声が多い。

[企業からのコメント]

- ・「4月前半は寒く客足が鈍かったが、桜が満開となって来店客、テイクアウトも多くなり良かった」「物価高と、それに伴った給与賃金が上がっていない影響もあるのか、例年に比べ来店数が減っている」「コロナ明けの消費拡大はあるものの、仕入価格上昇や人件費の上昇もある」「仕入単価を下げるために大量に発注したり、オレンジジュースが市場からなくなる見通しもあり、コスト増は免れない」
- ・「県道園原線の通行規制に加え、ナイトツアーも中止となり、経営に与える影響は厳しさを増してきている」「大型連休においても、ゴンドラ故障、通行規制の影響が大きく響く」「桜、花桃の時期の車の少なさに驚いた。昼神周辺の花見客も、例年に比べて明らかに少なかった。ナイトツアーのキャンセルも続き、その後の予約が入らない」「ゴールデンウィークの宿泊客は、対前年比で増加。週末の宿泊予約はあるが、平日の予約は回復していない」
- ・利益率を上げることも必要だが、お客に満足、納得してもらわなければ店は持続できない。

「もったいない！」から始まった、 「買い手よし」「地域よし」「環境よし」

～南信州菓子工房株式会社 代表取締役社長 木下裕亮氏～

インタビューで、あるドライフルーツをいただいた。

酸味があってさわやかな甘みがある。意外だったのは食感で、サクッサクッとしている。

聞けばこれは、カットフルーツで使ったパイナップルの捨ててしまう芯を、南信州菓子工房株式会社秘伝の「半生製法」で仕上げたドライフルーツだという。

今回ご紹介する南信州菓子工房株式会社は、国産果実にこだわり、その風味、色をできる限り損なわないよう、真空の釜を使って45℃以下の低い温度でシロップと果実を煮詰めて果実の水分とシロップを入れ替え、同じく低温で乾燥させる「半生製法」を開発。従来の固い食感ではなく、素材の風味や色を残した「しっとり」「ソフト」な食感の「半生ドライフルーツ」を完成させた。

「この地域に根付く半生菓子は、お菓子を日持ちさせるための技術。半生菓子メーカーの長男に生まれた私は、この技術を使ってドライフルーツを作れば唯一無二の製品ができると思ったのです」と言う木下社長は、「弊社のドライフルーツ自体が、霜に当たったり、ちょっとした傷があったりと、農家さんが青果として出せない跳ね出し品に、より付加価値をつけて出すというコンセプトでスタートしたので、言ってみれば『もったいない』から始まったもの。近頃は環境に配慮していると皆さんに仰っていただきますが、実際のところは、まず会社の問題点を克服していく、その結果として環境に繋がっていただけなんです」と笑顔で語る。

今回は、「もったいない」から始まった、南信州菓子工房株式会社の取り組みをご紹介します。



「もったいない」から始まった、「買い手よし」

●この、パイナップルの芯を使ったドライフルーツ、

おいしいですね。

ありがとうございます。この製品は、ライフ様という、近畿、関東地方のスーパーマーケットチェーンの依頼で作ったものです。

ライフ様はパイナップルをカットフルーツにして販売しているのですが、芯が大量に残ります。これを捨てていたのですが、「何とかならないか」という依頼があって弊社がドライフルーツにしました。

包材に「UPCYCLE」とありますが、これは「本来捨てられるはずの製品に新たな価値を与えて再生すること」です。約4トンにもなる捨てられるはずの

パイナップルの芯が、商品になったのです。

ライフ様には、これとセットで「パイゼリー」も納めています。弊社は果実をシロップと一緒に低温で煮詰めるのですが、できたシロップは果実の風味、香りが移って大変おい

しい。これもできるだけ使い切ろうというわけで、寒天で固めてゼリーにしました。



ライフ様としても、こうした取り組みで「食品ロス削減」を形にして消費者に提供することができるし、カットパイナップルを安心して販売することもできるのです。

最近では、都市の小売チェーンを中心にこうした例が増えてきています。昨年からCO-OP様とも「CO・OPもっちりジュシー！フルーツゼリー」の販売を始めましたし、5月連休明けに無印良品様とドライフルーツ、寒天ゼリーをセットで販売します。価格競争だけでなく、SDGs等の安全、環境に配慮した取り組み、ストーリーを、消費者が求めるようになったと思います。



- ・所在地：下伊那郡阿智村春日3291-1
- ・代表者：代表取締役社長 木下裕亮氏
- ・従業員数：140名
- ・事業内容：素材菓子製造
- ・会社沿革：

2012年5月、現代表取締役木下裕亮氏が、「安心・安全果実を原料とする素材菓子」を商品づくりの基本コンセプトに創業。ドライフルーツの他、寒天ゼリーや昔ながらの飴、チョコレートなどを製造販売。近時は旬の果実を周年販売できる冷凍加工技術も確立。2018年エコアクション21認証。同年12月世界最高峰の食品安全マネジメントの認証規格FSSC 22000取得。2020年「セミドライタイプドライフルーツ」がNAGANOものづくりエクセレンス2020に認定。2023年長野県SDGS推進登録企業に認定。

自社の課題から始まった、「地域よし」

●御社は、大分や鹿児島に農場をお持ちですね。

一昨年の5月に大分県佐伯市で約12haの農地を借りてレモン栽培に参入し、鹿児島県南九州市で約3haの土地を借りてサツマイモの栽培に昨年度参入しました。

自然災害も多く、農業には元々リスクが高い部分があります。農家さんは高齢化し廃業される方も増えて、遊休農地という名の荒地がどんどん増えてしまっています。一方、弊社の一番の売れ筋は「輪切りレモン」なのですが、寒波や西日本豪雨などもあって、一時は従来ルートの仕入量が1/3になってしまうなど、安定した調達が難しくなってきました。それでレモン栽培に参入しようと考えたのです。

鹿児島工場の場合も、農家さんが高齢化してますし、サツマイモに病気が出て耕作放棄してしまった農家さんが増えてしまいました。一方弊社の側でも、安心安全や環境に配慮した製品を、という強い要望が寄せられていました。加えて、レモンやパイナップルなどは春夏は売上が上がるのですが、秋冬になると落ちる傾向があります。それで、サツマイモの栽培から手掛け、有機JASマークを取得した紅はるかの「ひとくち焼き芋」や干し芋を作ることにしたのです。

レモンは6,500~7,000本定植し、昨年試験的に初収穫を迎えました。最盛期は250~300トンの収量を想定しています。弊社の製品原材料としてだけでなく青果としても販売し、10数年後には農業事業単体で利益が上がるようにしたいと思っています。



大分佐伯ファームに大分農業大学の生徒を迎えてレモンの植栽。手前は佐伯市で採用した伊藤農場長

小さい農家さんが、例えば100キロのレモンを作って選果場に出しても、量が少な過ぎていけない、となってしまうんですが、弊社が200~300トン作れば、農家

さんの100キロを合わせて農協さんや選果場に出荷できます。そういう点で、企業の農業参入によって小さい農家さんの売り先ができますし、作ってみようとなれば農地を使います。佐伯でも鹿児島でも、そういう方向を目指しています。



「もったいない」から始まった、「環境よし」

●駐車場の傍にあるプラントがメタンガスの生成と、それを使った発電の装置ですか？

そうなんですけど、適任者がいますので弊社の大島に説明させますね。

大島取締役 詳しくご説明できるか不安なのですが、当社の工場から出る排水は、果汁とか糖液が非常に多く、匂いも良くて食べられるものですから、皆さんがイメージする汚水という感じはないのですが、栄養分(有機物)が多く、一般的な汚れの指標としては非常に数値が高いものになります。

工場が小さいうちはともかく、生産が増えるにつれ、排水処理に気を付けないと安定した生産もできないし、地域の住民の方に迷惑かけてしまう。だからと言って浄化槽で処理するのはコストも場所も臭いも出てしまう。どうかならないかと考えていて、これだけ有機物の濃度が高ければメタン嫌気発酵施設を使えるのではないかと、いうところからスタートしました。

嫌気発酵させると、詳しい科学式は分からないのですが、糖分の場合、酵素の働きで最終的には水素、二酸化炭素、酢酸に分解されるそうです。次の段階がメタン発酵なのですが、メタン発酵菌などが酢酸をメタ

ンに分解したり、二酸化炭素、水素などを使ってメタンを生み出すそうです。

カーボンを循環させるのはなかなか難しいそうですが、弊社ではメタンにすることで、捨ててしまう排水からもう一度エネルギーを取り上げ、阿南工場ではボイラー熱に、本社では発電に使用しているという取組になります。

木下社長 工場排水というのは下水に流せないで、こういうプラントに投資して基準を満たした排水を河川に戻すか、都度費用をかけて産廃処理するかしなければなりません。それで、一番綺麗にできて、ランニングコストとかいんなことを考えて決めていくと、もうこれしかなかったというのが実際のところですよ。

予期していなかったのですが、バイオマス発電は全国でだいぶ広がってしまっていて、糖分が多くてメタン発酵には適しているということで、弊社の廃糖液を分けてくれないかという話もあります。

●これからどのような会社にしていきたいですか？

これまでお話ししたように、弊社は「地球を守るんだ」ということを考えて何かを始めたのではなく、会社の経営状況から見て、これはもったいないぞとか、これをやっていたら利益出ないぞ、というところを改善するためにやってきたことが、結果として環境に繋がりました。この姿勢は続けていきたいですね。

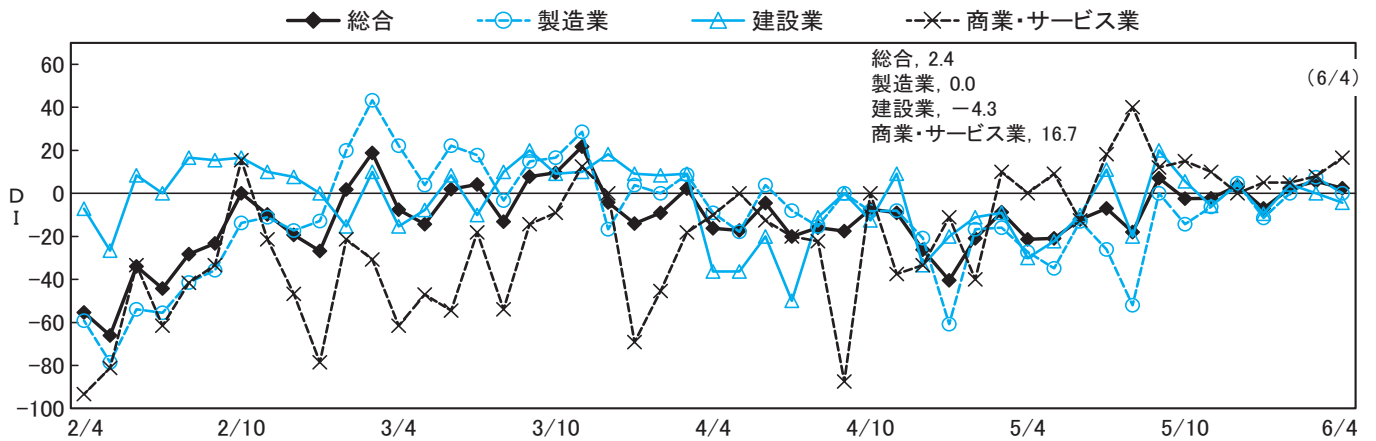
それに、弊社は跳ね出し品に付加価値を付けたいというところから始まった会社なので、やはり地域に貢献できる会社になりたいというのはありますね。弊社の施設は阿智村と阿南町にありますけど、阿智村なら例えば観光に少しでも寄与できるようなことをやってみるとか、阿南町であれば遊休農地が増えてますので、その活用を農業参入でやってみるとかですね。

●お忙しいところ今日は誠にありがとうございました。

(文責：しんきん南信州地域研究所 中村 達)

飯伊地区全産業景況DIの推移

飯伊地区景況DI (本誌調査)

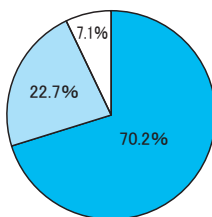


飯伊地区主要経済指標

主要指標		実数	前月比	前年同月比	前々年同月比	令和元年同月比
倒産件数 (負債総額1千万円以上) (3月)	県内	8件	(前月 5件)	(前年同月 8件)	(前々年同月 7件)	(令和元年同月 8件)
	飯伊	1件	(前月 1件)	(前年同月 1件)	(前々年同月 1件)	(令和元年同月 0件)
住宅着工戸数 (飯田市、下伊那郡 総数) (3月)		64戸	△ 3.0 %	111.3 %	68.4 %	36.2 %
有効求人倍率 (パートを含む実数) (ハローワーク飯田管内) (3月)		1.33倍	(前月 1.39倍)	(前年同月 1.63倍)	(前々年同月 1.38倍)	(令和元年同月 1.31倍)
自動車新規登録台数 (松本事務所管内)	新車	1,871台	△ 33.1 %	△ 3.6 %	13.9 %	△ 18.3 %
	中古車	766台	△ 20.4 %	4.9 %	2.1 %	△ 13.1 %
軽自動車新規登録台数 (全国軽自動車協会連合会) (3月)	新車	4,200台	37.7 %	△ 23.0 %	△ 12.7 %	△ 32.4 %
	中古車	1,104台	23.2 %	△ 1.8 %	△ 4.2 %	△ 2.0 %
中央道利用台数 (飯田インター分)	入	93,928台	△ 2.7 %	△ 0.2 %	7.0 %	△ 16.4 %
	出	93,477台	△ 3.8 %	△ 1.1 %	5.6 %	△ 18.1 %
中央道利用台数 (松川インター分)	入	52,950台	△ 4.6 %	△ 7.0 %	△ 0.2 %	△ 29.4 %
	出	50,647台	△ 0.6 %	△ 3.1 %	△ 1.1 %	△ 29.5 %
中央道利用台数 (園原インター分)	入	12,445台	123.0 %	△ 48.6 %	△ 33.5 %	△ 40.8 %
	出	13,138台	142.8 %	△ 57.0 %	△ 42.2 %	△ 45.7 %
中央道利用台数 (飯田山本インター分)	入	50,247台	3.1 %	2.0 %	12.8 %	13.5 %
	出	52,307台	6.2 %	1.3 %	12.5 %	16.4 %
中央道利用台数 (座光寺スマートインター分)	入	40,202台	△ 0.7 %	7.6 %	21.9 %	- %
	出	40,480台	1.3 %	13.4 %	25.7 %	- %
信用保証協会 新規保証件数 (飯田支店管内)		102件	△ 49.0 %	△ 18.4 %	15.9 %	△ 20.9 %
信用保証協会 代位弁済件数 (飯田支店管内)		8件	(前月 2件)	(前年同月 4件)	(前々年同月 2件)	(令和元年同月 1件)
高速バス乗車人数	飯田～新宿	19,874人	△ 18.5 %	11.2 %	83.6 %	△ 25.0 %
	飯田～名古屋	12,963人	△ 17.9 %	△ 0.7 %	42.4 %	△ 30.5 %
	飯田～長野	4,085人	3.2 %	△ 1.5 %	21.0 %	△ 56.4 %
	伊那・駒ヶ根～新宿	17,130人	△ 17.2 %	19.2 %	101.9 %	△ 21.4 %
市内循環バス乗車人数	左回り	2,835人	△ 6.5 %	11.7 %	10.5 %	△ 14.5 %
	右回り	2,942人	△ 5.3 %	10.8 %	16.6 %	△ 12.0 %

若者は、企業にSDGsへの取組を求めています！

就職活動において、企業がSDGsに取り組んでいることを知ると志望度が上がりますか？



- 志望度が上がる・どちらかと言えば志望度が上がる
- どちらとも言えない
- 志望度は上がらない・どちらかと言えば志望度は上がらない

【出典】株学情 2025年3月卒業予定の大学生向けアンケート(2023年6月発表)

SDGs サポートサービス

企業のSDGs取組の評価・フィードバックを行うと共に、SDGs宣言の策定および個別課題の解決を支援します！

● サービスの特長

1 チェックシートに基づき貴社のSDGs取組のヒアリングを行い、専用のフィードバックシートにより評価結果を還元します！

- ・チェックシートは、「人権・労働」「環境」「内部管理・組織体制」「製品・サービス」「社会貢献・地域貢献」の5つのカテゴリ・28問からなります。
- ・フィードバックシートは、「評価結果A・B」「サポートリスト」「SDGs宣言候補リスト」で構成されます。
- ・評価結果において、SDGs取組の「強み」と「弱み」を明らかにします。

2 SDGs宣言の策定を支援します！

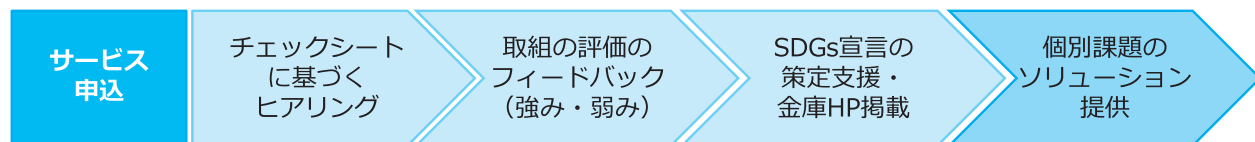
- ・「SDGs宣言候補リスト」を基に宣言内容について話し合いをさせていただきます。
- ・宣言書のフォーマットを複数用意しておりますので、気に入ったフォーマットをご使用いただくことが可能です。
- ・ご希望により、完成したSDGs宣言を当金庫HPに掲載し、対外PRのご支援をいたします。

3 評価で明らかとなった課題のソリューションを提供します！

- ・「弱み」に対するソリューションを記載した「サポートリスト」をもとに、課題解決に向けたソリューションを提供します。
- ・ソリューションには有償のものも含まれます。

※ チェックシート・フィードバックシートは、三井住友海上火災保険株式会社およびMS&ADインターリスク総研株式会社の支援を受け作成しています。提供するソリューションには、両社のソリューションを含みます。

● サービス提供イメージ（申込から宣言策定まで1～2か月程度となります）



● 利用料金 5万円（税別）

- ・SDGs取組の評価・フィードバックおよびSDGs宣言策定に係る料金となります。
- ・個別課題に対するソリューションには有償のものを含み、その場合別料金となります。

詳しくは飯田信用金庫本支店
または地域サポート部（53-5811）へ